

北里大学獣医学部における 産業動物の参加型実習



北里大学獣医学部
渡辺大作

実習施設

30haのキャンパス内に10haの草地と厩舎、家畜棟（牛、めん羊）、山羊舎、豚舎がある。

十和田農場



めん羊： 40頭



馬：11頭



厩舎

FSC十和田農場

牛：5品種・約30頭



山羊：30頭



豚：4品種120頭（出荷：200頭）





十和田農場

獣医学科・動物資源科学科・
生物環境科学科の実習で活用

＜常時飼育頭数＞

- 馬 11頭（ポニー3頭）
- 牛26頭（日本短角種、ヘレフォード、黒毛和種、褐毛和種、シャロレー）
- めん羊・山羊 60頭
- 豚 120頭（L, W, D, B, 交雑種）



大動物臨床系の教員構成

- 大動物内科学 教授
講 師
- 大動物外科学 准教授
助 教
- 獣医臨床繁殖学 教授
講 師
講 師



大動物診療センター

7名で実習と講義を担当

産業動物の参加型実習科目

- 2年前期： 獣医学入門実習 **必修**・1単位(5班:半日ずつ)
- 4年後期： 獣医臨床繁殖学実習 **必修**・1単位
- 5年前期： 大動物総合臨床学Ⅰ(内科)実習**必修**・1単位
- 5年前期： 大動物総合臨床学Ⅱ(外科)実習**必修**・0.5単位
- 5年前期： 大動物総合臨床学Ⅲ(繁殖)実習**必修**・0.5単位
- 5年後期： 大動物病院実習・演習
• (1班20名、5日間;7班)**必修**・1単位
- 6年前期： 大動物臨床実習・演習 **選択**・1単位
- **学外実習**： 単位認定は4年夏季～(5日間1単位;**選択**)
(小動物病院、NOSAI家畜診療所、家畜保健衛生所など)

大動物総合臨床学実習 I ; 内科

採血は朝めし
前よ！！

牛、馬、豚の保定
採血、注射
一般臨床検査
尿検査
血液検査手技
胃汁検査 など



大動物総合獣医学Ⅱ（外科学）実習

牛・馬・豚の鎮静と麻酔
去勢、断角（牛、めん羊、山羊、豚）
骨折治療（キャストリング）
削蹄法
跛行検査、内視鏡検査（馬）
腹部外科手術法



ヤギの鎮静・麻酔と断角



血をみても平気だよ

牛の断角

大動物総合臨床学実習Ⅱ (外科)



牛の去勢実習
頑張りました > @ @ <



豚の去勢: **すぐに楽になるからね～**



大動物総合臨床学実習Ⅱ（外科学）



わしら、**フロ**です！！
1級装蹄士の実習指導

蹄病は牛の生産性を落とす大きな要因。

実習で診断や削蹄方法を学ぶ



大動物総合臨床学実習Ⅲ（繁殖）



直腸検査
子宮薬液注入
超音波検査
受精卵回収と移殖
産科器具と使用法



フリーストール牛舎にて、1班
約10名、14班に分けて実習

大動物病院実習・演習(5V後期・必修)

提供患畜、入院患畜を用いて、診断と治療法を学ぶ



大動物臨床実習・演習（6V・前期 選択）

気持ちええ～



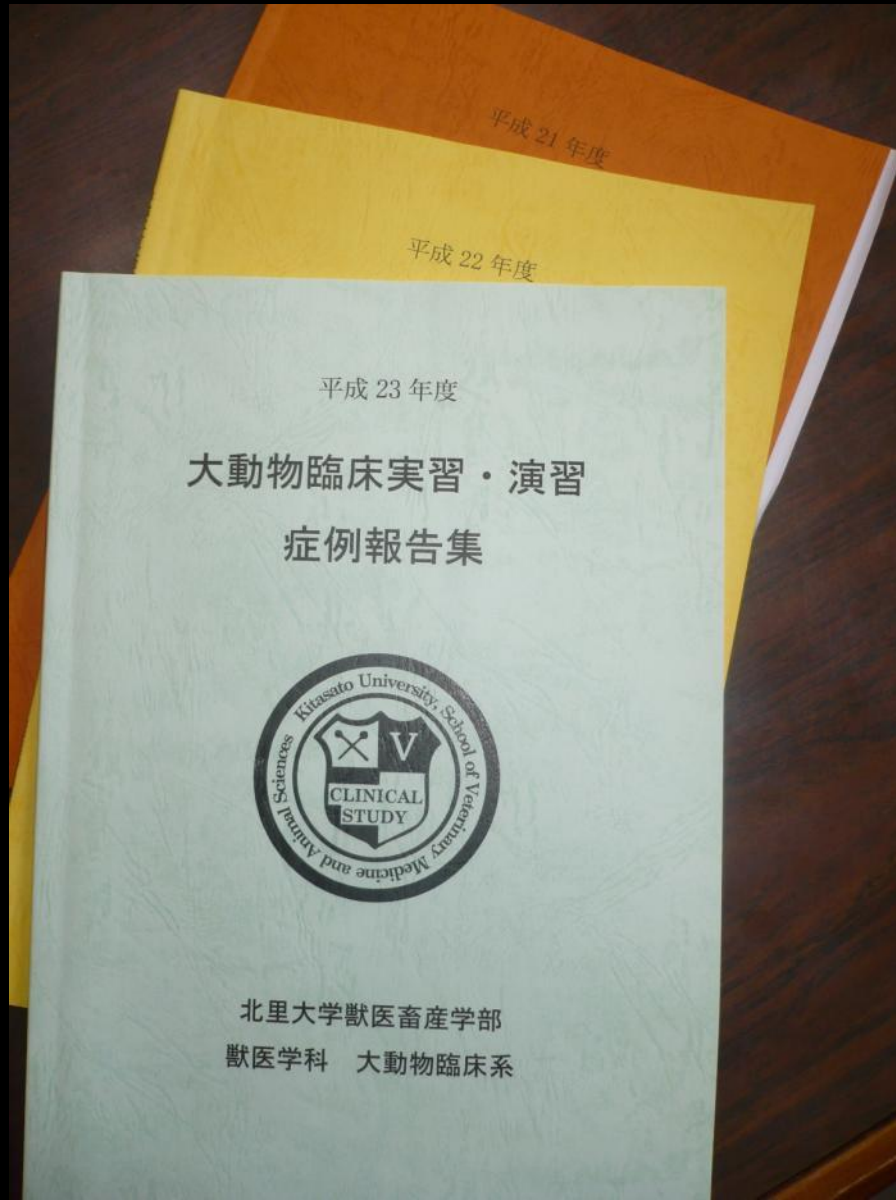
馬の蹄葉炎治療



臍ヘルニア手術

大動物臨床系学生と大動物臨床に関心のある学生を対象に、提供患畜、入院症例を用いて少人数で実習。

大動物臨床実習・演習（6V・前期 選択）



報告書提出。7月第1週の
土曜日に報告会を実施。

産学官連携事業(生産獣医療)



家畜保健衛生所、普及所、JA、
大学、伝道師が巡回して、指導。
肉質向上をはかる。



代謝プロファイルテスト、飼料
調査、枝肉成績、出荷牛の疾
病分析を行い、生産者と検討
会を行う。

参加型実習の課題

- 通常の斉一実習では、学生数に対して教員が少なく、細やかな指導が難しい。
- 大動物関連実習に使用する医薬品・飼育費が高額で、研究室の負担が大きい。
- 病院実習は、濃密な実習が可能であるが、7班（小動物2単位、大動物1単位；1班は終日3週間）を実施するため、5V後期はその実習のみに当てられる。臨床教員の指導時間が長く、負担が大きい。



実習費増と臨床系教員の確保・増員が必要